

公益財団法人宮崎文化振興協会

平成25年度 第2回理事会議事録

1. 日 時 平成26年3月20日(木) 午後2時～午後4時05分

2. 場 所 宮崎市橋通西1丁目1番2号 宮崎市民プラザ 大会議室

3. 出席者 理事現在数 10名 定足数 6名

出席者 田原健二 山口哲朗 大森郁子 甲斐亮典
片野坂千鶴子 菊地照代 中別府尚文 向井好美
森本雍子

以上9名

(定款第31条第2項の規定による定足数を充足)

監事出席 大南道生 阪本満男

以上2名

同席者

(公財)宮崎文化振興協会事務局 次長兼経営戦略課長 白田憲光

他 13名

計 14名

4. 議案
- | | |
|-------|------------------------------|
| 第1号議案 | 平成26年度事業計画書(案)について |
| 第2号議案 | 平成26年度収支予算書(案)について |
| 第3号議案 | 平成26年度施設管理運営事業積立金の取崩し(案)について |
| 第4号議案 | 平成25年度補正予算書(案)について |
| 第5号議案 | 公益財団法人宮崎文化振興協会資金運用規程(案)について |

5. 報告事項 職務執行の状況について

6. 議長選任の経過

司会が開会を宣した。次に定款第33条第3項により理事長田原健二が議長を務めること及び定款第31条第2項により会が有効に成立していることを告げ、議長の進行により議案の審議に入った。

7. 議事の経過要領及びその結果

議長は、定款第34条第2項に基づき、理事長田原健二と監事大南道生、阪本満男が議事録署名人になることを告げ、次の5議案及び報告事項について審議した。

(議案)

第1号議案 平成26年度事業計画書(案)について

平成26年度事業計画書(案)について、事務局及び各館長から説明を行った。

本議案に関連して次の質疑応答があった。

(阪本監事) 宮崎市の箱モノアンケートについて、施設の統廃合に対して、どのように考えているか。また、歴史3館合同収蔵品展については、時期を変えて進めていくのか。

- (山口専務理事) 当協会の施設について、今後どうなるのか大変危機感を募らせている。評価の一つが入館者数の少なさにあるようなので、教育施設としての利用価値を高めるよう努め、どうすればより来館者に喜んでいただけ、より多くの方に来ていただけるか、職員が努力をしなければいけないと考える。
- (清山館長) 歴史3館合同収蔵品展については内容を全て同じにしている訳ではなく、みやざき、佐土原、天ヶ城でテーマなりを決めてそれぞれ違った展示となる。
- (阪本監事) 平成25年度の経営戦略課の経営戦略旅費とか研究旅費などの研究事業についてはそういう部分が目的ではないのか。
- (山口専務理事) 施設の統廃合問題について、他施設の事例や職員の取組みなどを研究旅費・研究論文等で職員が研究するのであれば、対象になると思います。
- (甲斐理事) どの館も独自に事業等についていろんな工夫をしている。これを市民にどれだけアピールできるかがこれからの課題だ。今まで以上にこれを市民に広報する手立ては考えているか。
- (山口専務理事) アンケートでは、市の広報誌の実績が高い。しかし、宮崎市の広報誌はページ制限等もあり今後は期待できないと考える。今は、各館のHPの見直しをしており、戦略的に協会全体で広報の在り方を考えなければならない。
- (片野坂理事) 25年度は、音と出会おう子どものための音楽会を手伝わせていただいた。今はHPの閲覧者が増えているので、科学技術館と子ども文化センターでリンクを張らせていただきたい。
- (田原理事長) 施設を利用する方、若しくはまだ利用したことのない方についても色々な広報をしていかなければいけないと考えます。リンクについては張る方向で検討する。
- (森本理事) 回想法推進事業について、福祉関係との連携・協議はどのくらい進んでいるのか。地域ミュージアム化推進事業について、予算額の19万9千円で頭出し程度の子算だが、大丈夫なのか。実際に取り組まれる時は地域の小中学校や公民館なども取り込んでいただきたい。
- (甲斐理事) 回想法について、物もいいのですが写真などと組みあわせるのも効果が上がると思う。
- (片野坂理事) 以前、橘通りの写真を使って回想法を実施しましたが、凄く効果的だった。
- (山口専務理事) 回想法については、昨年末に長寿支援課長へ連絡し、協会の取り組みをお伝えした。協会の役割を明確にしながら進めていくことで、最終的には市にとっても効果があるものとする。写真については確かに有効だと考える。
- 地域ミュージアムについてはまだ漠然としており、まだ、第2回の会議を開いたところである。まずは担当者に調査をさせている段階で、多少時間がかかる。
- 指定管理期間が来年度が初年度となり、協会としては、この2つの事業展開が、次期指定管理獲得のための新たな仕掛けと考えています。具体的になりましたら改めて報告する。
- (田原理事長) 回想法について、歴史館などの博物館側にとっては、生活文化が世代間をどうやって伝わっていくのかなど、そちらの方が意義となる。
- 地域ミュージアムについても、地域自治区のまちづくり推進委員会とうまく協力出来ればと考える。
- (山口専務理事) やはり一番詳しいのは地元なので、自治会長等、色んなヒントをもらいながら一緒にやっていくのが重要と考える。
- (大森理事) ボランティアの育成について、科学技術館でのイベントなど、子どもを対象とした事業の時に、宮崎市内の大学などへ声かけを行い、ボランティアを募集したらどうか。学生も研究テーマを見つけたりする事ができるので、相互効果が期待できる。
- (山口専務理事) 宮崎科学技術館では大学生に土日などの休みの日に来ていただいている。また、科学の祭典について、各学校から色々ブースを出していただいている。

学生以外でいえば、科学技術館では、退職教員の方達の JSC というサークルや、運営ボランティアもある。歴史文化館については古文書関係であったり、大淀川学習館ではホテル関係や内水面関係団体と協力している。市民プラザでは今後増やしていかなければいけないと考えている。

質疑応答後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で可決した。

第2号議案 平成26年度収支予算書(案)について

平成26年度収支予算書(案)について事務局から説明を行った。
説明後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で承認可決した。

第3号議案 平成26年度施設管理運営事業積立金の取崩し(案)について

平成26年度施設管理運営事業積立金の取崩し(案)について事務局から説明を行った。

審議後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で可決した。

第4号議案 平成25年度補正予算書(案)について

平成25年度補正予算(案)について事務局から説明を行った。
審議後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で可決した。

第5号議案 公益財団法人宮崎文化振興協会資金運用規程(案)について

公益財団法人宮崎文化振興協会資金運用規程(案)について事務局から説明を行った。

説明後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく満場一致で承認可決した。

(報告事項)

報告事項 職務執行の状況について

専務理事山口哲朗より、前回定例理事会の開催日(平成25年6月11日)以降の職務執行状況について説明があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、午後4時05分に司会が閉会を宣し、解散した。

上議決を明確にするため、本議事録を作成する。

なお、以上この議事録が正確であることを証するため、理事長及び出席した監事は次のとおり署名する。

平成26年3月26日

公益財団法人宮崎文化振興協会 平成25年度 第2回理事会

理事長 田原健二 印

監事 阪本満男 印

監事 大南道生 印